

読書ノート



ツワブギのよくな

- はなしの名人 池内紀智
東京落語地図、角川選書

子どものころ、ラジオから流れてくる落語を私も聞いた。でも文楽・狂言・圓朝も名人と言われて名前を聞いたことがある程度。

それなのにこの本、読み出すと止まらない。

落語を聞くように歯切れのいい文に案内され、江戸から東京の町々を歩く。心中、浮気博打、詐欺……長屋に吉原、江戸の大火、飢饉、これは宮本常一とはちがうタイプの民族誌? 著者は、名人们の言葉をいつまでも聴きたい一心から600本ほどもカセットテープにとったそうだ。私も一度寄席へ行ってみたい。

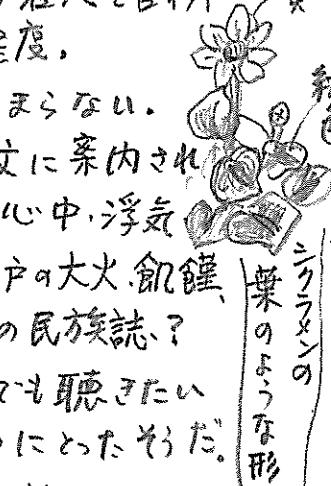
- かわいい浮世絵 太田記念美術館監修
日野原健司著

(株)東京美術

ねこの町の遊廓、うさぎの相撲、うつねの大名ごっこ、鳥の芸からうるさい、どのページを開いてもほのほのフフフ……。「北斎漫画」も細かいところまで鋭く観察して、生きた線から体温やにおいやつぶやきまで伝えてくれる。浮世絵をはじめて見た印象派のゴッホやモネらの驚きを思う、周り師、習い師の技もため息が出る。

- 罪と罰の彼岸 ジャン・アメリー著
池内紀訳

難しい本、重い重い内容、3ヶ月かけてやっと本を開いたが、本の中まで終わらない。ナチスドイツの強制収容所を生き延びた人が、「ともに人間でありたい人すべて」に送る半世紀読み継かれた名著——とある。「ユダヤ人」について知りたい。



花も葉も

シクランの形

近くへ行ったら
私の店
作家たちは
コーヒーカ好
き寄りみ下さい



表紙松本清張
西銀座 ↓よく行った店

S23年開業

カホドランブル

現役オーナー
奥口一郎さんは日本のお茶文化を
作った重要な人、荷風や17代
勘三郎も通ったそう。

私は二度行った。舌に
残った旨さに店を出でから
ひとりニンマリ……。

ふじい 東京・町田市

武相莊コーヒーレーム

クリスマスロードの鉢
咲いた。

白洲次郎・正子の旧居

じやかーいもの かんたんポタージュ

4ラップとTVで見? 自己流で、寒い日の一品です。

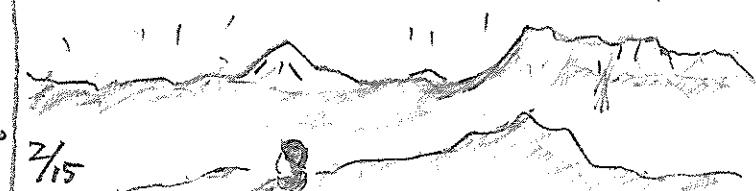
じやかーいもの 2ユ 半身、5ミリくらいに切って
ひたひたの水で煮る。

白ネギ / 本たて半分に切り/ cmくらい余裕め切りを
カロエで煮る。化かやわらかくなら
固型スープ1/2カップカロエ、マッシュポテトです。 111セ
ベーコン1~2枚切ってカロエ。
手計し1.5カップ。くらい入れあたためる。
塩コショウ適宜、キノコ、パセリなど

けやき通信 No.284

2017.2月

一錦織佳代子



2/15

二月は光の春
どこまでも青い空
世界がキラキラ
光って3月

白いストレーナー
はおつたよな
石鎧峰の雪の山々

へつらひや平和!

また行きたい
あの喫茶店

京都 1964年
百万遍京大北門前

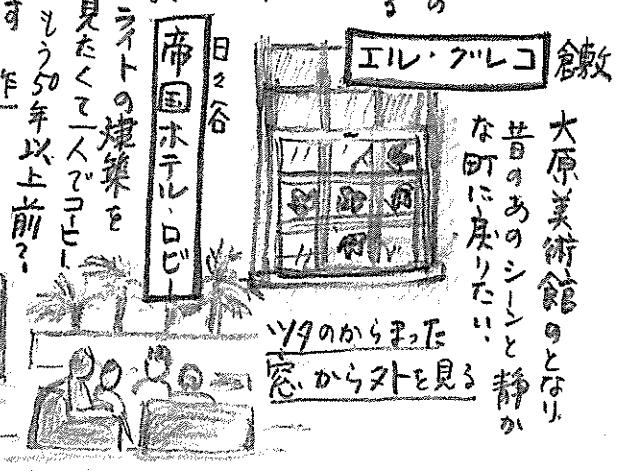
進々堂 河上肇
湯川房林も通った

はじめつけていつもさうのね
19歳のとき、あの人、今どうしてる?
チボ一家の人々を買ってもらった。
店は昔のまま変わらない。

松本まるも となりは旅館
三度泊めた



静かな音楽、
松本民芸イスや
テーブル・飾りもの
みんなほっとする



大原美術館となり
昔のあのシンと
な町に戻りたり
静か

エル・グレコ 食堂

